

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書（収益性向上対策）

都道府県名 島根県

産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	
					現状				目標				実績										
					年度	面積	生産量、出荷量	単価	年度	面積	生産量、出荷量	単価	年度	面積	生産量、出荷量	単価							
島根県農業再生協議会	1	島根県(種子)	土地利用型作物種子(稲・大麦)	優良種子の安定的な生産体制整備の推進 ① 種子選穀設備(種子センター)の整備による機能向上 ② 種子生産高度化施設の整備による種子の管理・貯蔵機能の高度化 ③ 種子選穀設備及び種子生産高度化施設により一体的なコスト削減	加工コストの6%を超える削減	H30	104円/kg	125 ha	501.9 t	R3	94円/kg	145 ha	559.8 t	R3	104/kg	136.0 ha	538.9 t	0.0	新施設でのオペレーションに慣れず想定していた処理効率を発揮できなかったため、作業日数の増加等による追加の人員費が発生した。また、種苗法改正に伴う登録品種の表示義務化により追加の資材費が発生した。処理量についても、コロナ禍による需要の低下等により計画に達せず、未達となった。県協議会としては、オペレーションを改善し処理効率を高めるように指導する。併せて、処理量の増加に向けて、需要に応じた生産を徹底するように指導する。	0.0	想定していた処理効率を発揮できず計画よりも人件費が増加し、加えて登録品種の表示義務化に伴い追加資材も必要となった。また、コロナ禍による需要の低下等により処理量が計画に達せず、成果目標は未達成となった。県としては、オペレーション改善や処理量の増加について必要に応じて情報提供等を行い目標達成に向けてサポートする。		

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考			
					現状				目標				実績					事業実施前年度	目標年度										
					年度	面積	生産量又は出荷量	単価	年度	面積	生産量又は出荷量	単価	年度	面積	生産量又は出荷量	単価		年度	面積								生産量又は出荷量	単価	
浜田市農業再生協議会	2	浜田市(ぶどう)	果樹(ぶどう)	ぶどう(ピオーネ・シャインマスカット)の産地形成の推進	販売額の10%以上の増加	H28	21,395千円	4.03 ha	18.3 t	1,166 円/kg	R3	24,580千円	5.98 ha	19.3 t	1,268 円/kg	R3	26,124千円	5.1 ha	15.9 t	1,639 円/kg	シャインマスカット 1,463 円/kg ピオーネ 1,216 円/kg	シャインマスカット 2,377 円/kg ピオーネ 1,559 円/kg	0.615 0.780	19,792千円	①現状値：平成28年度ピオーネ・シャインマスカット JAしまね共販(農協調べ、浜田市) ②目標値：令和3年度ピオーネ・シャインマスカット JAしまね共販(農協見込み額、浜田市) ③実績値：令和3年度ピオーネ・シャインマスカット JAしまね共販販売金額の実績(農協調べ、浜田市) ④検証方法：(③-①)/(②-①)×100%	-50.4	うどんこ病の発生や夏場(7月~9月)の豪雨による裂果、猛暑(7月下旬~8月)の影響による葉焼け等が発生したことにより、出荷量が減少し、成果目標が達成できなかった。今後は、JA担当者及び関係機関と連携して、育苗圃の成園化を図るとともに、排水対策や病気、生理障害対策を実施することにより、目標達成を目指す。	災害級の降雨による裂果や病気、生理障害の発生により目標を達成できなかった。今後は、関係機関と連携して、育苗圃の成園化を図るとともに、排水対策や病気、生理障害対策を実施することにより、目標達成を目指す。	